

2009年2月26日 ノルディック複合世界選手権

大平



取ったぞ!

団体 14年ぶり **金**



写真左から小林範仁、加藤大平(和寒町)、湊祐介、渡部暁斗

復活だ! 複合日本

ノルディックスキ複合

和寒町出身 加藤大平選手が快挙達成!世界一だ!おめでとう!

【リベレツ(チェコ)世界選手権第8日】
2009年2月26日複合日本に金メダル。混戦状態の中、アンカーの小林範仁が残り700メートルでラストスパートをかけた。早い!早いぞ!トップでスタジアムに入りドイツを交した。ゴールの瞬間みんなが大きく手を上げた。世界最強を誇った日本の複合が蘇った。

前半距離を5位で折返し、首位とわずか24秒。チーム内に「行ける」と確信が。第1走者の湊選手がトップに踊り出て、第2走者の加藤大平選手が4位でつなぎ、第3走者の渡部選手は2位でアンカーの小林選手に渡した。

【胸には輝く金メダル】
小林選手から順に雪の結晶をかたどったメダルを首にかけ、4人は最高の笑顔を見せた。会場を埋め尽くした観衆に向かってガッツポーズを繰り返した。4人はメインポールに掲揚された日の丸を誇らしげに見つめながら、君が代を歌った。スポンサーになっている企業の社員も表彰式に駆けつけて喜びを分かち合った。
「日本の誇り。今日ほど日の丸が誇りに思ったことはありません」と現地から喜びの声が上がっていた。



前半飛躍 加藤大平選手の128メートルの大ジャンプ